

## 第7次小樽市総合計画の進捗状況及び行政評価の実施結果について

本市の市政運営全般についての指針となる最上位の計画として位置付けている第7次小樽市総合計画では、市政の各分野を『まちづくり6つのテーマ』として「子ども・子育て」「市民福祉」「産業振興」「生活基盤」「環境・景観」「生きがい・文化」に分類するとともに、これらに共通する人口対策として関連付けた「人口減少・少子高齢化への対応」を最重要課題として掲げ、施策の基本的な方向性を示しています。

この度、総合計画の進捗状況を明らかにするため、設定した指標の推移を確認するとともに、令和2年度決算によりテーマごとに要した経費を取りまとめました。

また、指標推移の結果を基に、施策の効果や事業の妥当性を行政評価（施策評価）によりチェックしました。

### 1 第7次小樽市総合計画の進捗状況

#### (1) 施策指標の推移について

まちづくり6つのテーマは32の施策で構成されており、この施策に設定した指標と令和3年5月に実施した市民アンケートの結果に基づく指標の推移を確認した結果をまとめました。

その結果、現状では概ね半数の指標が順調に推移していました。

※隔年で行う統計調査等の結果による指標など、令和2年度中に把握できない場合は、集計には含めていません（全181指標のうち、今回確認対象は167指標）。

#### 【指標の判定】

指標推移は、基準年から目標年までに、基準値から目標値まで平均的に増加（減少）させた場合を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定

判定記号	判定内容
◎	指標の推移は順調
△	指標の推移は順調でない

分野	◎	△	合計
人口減少・少子高齢化への対応	7	3	10
テーマ1 子ども・子育て	9	10	19
テーマ2 市民福祉	9	16	25
テーマ3 産業振興	16	17	33
テーマ4 生活基盤	25	21	46
テーマ5 環境・景観	10	7	17
テーマ6 生きがい・文化	6	11	17
合計	82	85	167

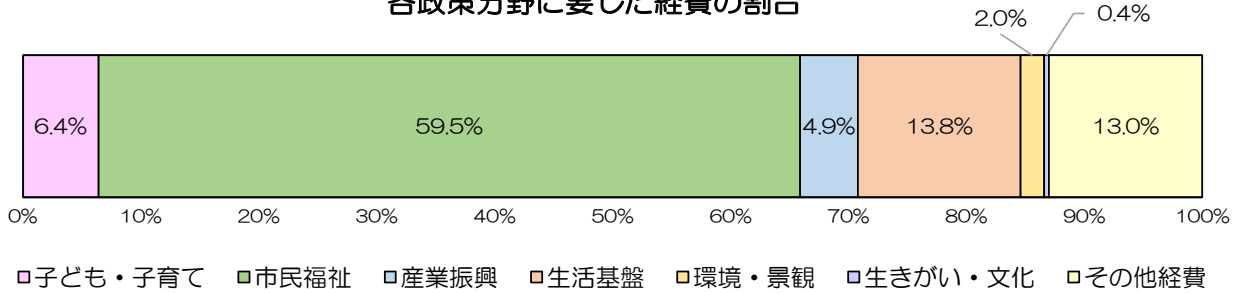
#### (2) 政策に要した経費の内訳

令和2年度決算の一般会計及び特別会計の歳出額と企業会計の支出（収益的支出及び資本的支出）額の合計をテーマごとに分類し、まちづくりの推進に要した経費の状況をまとめました。

分野	経費全体	うち企業会計
テーマ1 子ども・子育て	8,144百万円	—
テーマ2 市民福祉	76,212百万円	12,968百万円
テーマ3 産業振興	6,329百万円	—
テーマ4 生活基盤	17,676百万円	11,842百万円
テーマ5 環境・景観	2,496百万円	138百万円
テーマ6 生きがい・文化	510百万円	—
上記以外のその他経費 ※1	16,661百万円	—
合計	128,028百万円	24,948百万円

※1 市債の償還金、人件費のほか、広報関係や町内会館などのコミュニティ施設に係る経費など

各政策分野に要した経費の割合



## 2 行政評価（施策評価）の実施結果

- (1) 行政評価（施策評価）は、総合計画の施策に設定した指標の推移を見ながら、関連する予算事業や取組の進捗状況を確認し、施策全体で改善の必要性や推進するための方向性を示すものです。
- (2) 32の施策ごとに取りまとめた指標の推移により実施した今年度の行政評価では、半数の施策で予算事業等を改善しながら推進する必要があるとの評価結果になりました。
- (3) この評価結果を踏まえ、必要に応じ事業の見直しや新たな取組に着手することで、より効果的・効率的な施策展開を図ることとしています。  
また、評価結果に基づく各部局の見直し検討の結果や予算措置の状況等に関しては、令和4年度当初予算の編成後に取りまとめる予定です。

### 【① 指標推移の判定】

各施策に設定した市民アンケート指標と各指標の推移を総合評価した結果で、順調に推移している指標の割合により、A～Dで判定

判定記号	判定内容
A	順調（概ね75%以上）
B	概ね順調（概ね50%以上75%未満）
C	あまり順調でない（概ね50%未満）
D	順調でない（0%）

### 【② 改善内容の判定】

各施策を推進する上で、取り組んでいる予算事業等の方向性について総合評価した結果で、1～3で判定

判定記号	判定内容
1	主な予算事業等をそのまま継続して推進
2	主な予算事業等を改善しながら推進
3	主な予算事業等の内容を全面的に見直し

※「3」の判定はありませんでした。

テーマ	評価結果				改善内容	
	A	B	C	D	1 継続	2 改善
テーマ1 子ども・子育て		1-2学校教育【1】	1-1子ども・子育て支援【1】		2	0
テーマ2 市民福祉	2-4保健衛生【1】	2-5地域医療【2】	2-1地域福祉【1】 2-3障がい者福祉【1】	2-2高齢者福祉【2】 2-6男女共同参画社会【1】	4	2
テーマ3 産業振興	3-2水産業【2】	3-4工業・企業立地【2】 3-6港湾【1】	3-1農林業【2】 3-3商業【2】 3-5観光【2】 3-7雇用・労働【2】		1	6
テーマ4 生活基盤	4-4除排雪【1】	4-1上下水道【1】 4-5市街地整備【1】 4-7防災・危機管理【1】 4-8消防【2】 4-9生活安全【1】	4-2道路・河川【1】 4-3住宅【2】 4-6交通【2】		6	3
テーマ5 環境・景観	5-4都市景観【2】	5-1環境保全【2】 5-3公園・緑地【2】	5-2循環型社会【2】		0	4
テーマ6 生きがい・文化	6-3スポーツ・レクリエーション【2】	6-2文化芸術【1】	6-4国際交流【1】	6-1社会教育【1】	3	1
施策数の合計	5	12	12	3	16	16

※[ ]書きは、改善内容の判定記号を示しています。

第7次小樽市総合計画基本計画 各施策指標一覧表

No.	施策	小施策	指標	基準値	前年度実績値	令和2年度実績値	目標値	推移
1	人口減少・少子高齢化への対応	01 人口減少への挑戦	合計特殊出生率	1.12	H20～29平均 1.05	—	1.27	R1～10平均 —
2	人口減少・少子高齢化への対応	01 人口減少への挑戦	転出超過数	825人	H21～30平均 736人	596.5人 (457人)	535人	R1～10平均 ○
3	人口減少・少子高齢化への対応	01 人口減少への挑戦	子育てがしやすいと感じている市民の割合 (18歳未満の子どもがいる世帯) (No.25共通)	22.0%	R1 —	24.3%	基準値より増	R10 ○
4	人口減少・少子高齢化への対応	01 人口減少への挑戦	雇用保険一般被保険者数 (No.95共通)	33,492人	H30.10 32,815人	32,537人	33,492人	R10 △
5	人口減少・少子高齢化への対応	01 人口減少への挑戦	快適な住環境と感じている市民の割合 (No.117共通)	44.0%	R1 —	47.1%	基準値より増	R10 ○
6	人口減少・少子高齢化への対応	01 人口減少への挑戦	移住相談窓口を利用した移住人数 (No.116共通)	112人	H21～30合計 21人	39人 (18人)	146人	R1～10合計 ○
7	人口減少・少子高齢化への対応	01 人口減少への挑戦	小売業の年間商品販売額 (No.73共通)	1,298億円	H27 —	—	1,298億円	R10 —
8	人口減少・少子高齢化への対応	01 人口減少への挑戦	観光客消費額 (No.85共通)	1,255億円	H25 —	—	2,300億円	R10 —
9	人口減少・少子高齢化への対応	02 将来人口への適用	高齢者が元気に生き生きと暮らしていると感じている市民の割合	29.2%	R1 —	33.3%	基準値より増	R10 ○
10	人口減少・少子高齢化への対応	02 将来人口への適用	自分が健康であると感じている市民の割合 (No.52共通)	58.5%	R1 —	60.4%	基準値より増	R10 ○
11	人口減少・少子高齢化への対応	02 将来人口への適用	暮らしやすい環境が形成されていると感じている市民の割合 (No.123共通)	37.8%	R1 —	37.7%	基準値より増	R10 △
12	人口減少・少子高齢化への対応	02 将来人口への適用	地域公共交通に対して満足している市民の割合 (No.128共通)	34.3%	R1 —	30.2%	基準値より増	R10 △
13	人口減少・少子高齢化への対応	02 将来人口への適用	適切な行政サービスが提供されていると感じている市民の割合	24.5%	R1 —	27.4%	基準値より増	R10 ○
14	1-1子ども・子育て支援	01 妊娠・出産・子育て支援の充実	育児相談延べ件数	335件	H30 281件	338件	600件	R10 △
15	1-1子ども・子育て支援	02 保育サービスの充実	各種保育サービスの延べ利用児童数	21,080人	H30 22,664人	19,779人	21,000人	R10 △
16	1-1子ども・子育て支援	03 地域子育て支援の推進	地域子育て支援センターの延べ利用世帯数	5,502世帯	H30 4,507世帯	3,272世帯	5,500世帯	R10 △
17	1-1子ども・子育て支援	03 地域子育て支援の推進	児童館・児童センターの延べ利用児童数	17,287人	H30 18,883人	9,960人	17,200人	R10 △
18	1-1子ども・子育て支援	03 地域子育て支援の推進	ファミリーサポートセンターの提供会員登録数	140人	H30 132人	125人	140人	R10 △
19	1-1子ども・子育て支援	03 地域子育て支援の推進	地域子育て支援センターや親子の集いの場などの設置箇所数	4か所	H30 4か所	4か所	5か所	R10 △
20	1-1子ども・子育て支援	04 子どもを守る仕組みの充実	虐待などの困りごと相談延べ件数	208件	H30 207件	191件	200件	R10 △
21	1-1子ども・子育て支援	05 ひとり親家庭への支援	ひとり親世帯、生活困窮世帯の児童の学習・生活支援事業参加者数	30人	R1 30人	35人	50人	R10 ○
22	1-1子ども・子育て支援	06 地域活動団体への支援とリーダー養成	リーダー養成研修参加数	32人	H26～30平均 21人	14人	32人	R10 △
23	1-1子ども・子育て支援	07 見守り育てる環境づくり	20歳未満の青少年1,000人当たりにおける補導、指導された青少年の数	10人	H30 9.57人	2.36人	6人	R10 ○
24	1-1子ども・子育て支援	08 子どもを基本的な人権の尊重と保護	子どもの権利条約について理解している市民の割合	26.2%	R1 —	28.4%	基準値より増	R10 ○
25	1-1子ども・子育て支援	市民アンケート指標	子育てがしやすいと感じている市民の割合 (18歳未満の子どもがいる世帯) (No.3共通)	22.0%	R1 —	24.3%	基準値より増	R10 ○
26	1-2学校教育	01 未来を創る力の育成	全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査等において 国語、算数・数学が「好き」「どちらかと言えば好き」と回答した割合 (対象は、小学校6年生及び中学校3年生)	小学校国語69.6% 小学校算数68.2% 中学校国語51.8% 中学校数学50.4%	H30 69.5% H30 66.7% H30 65.4% H30 58.1%	63.6% 68.9% 57.8% 54.1%	70.0% 70.0% 70.0% 70.0%	R10 R10 R10 R10
27	1-2学校教育	02 豊かな心の育成	全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査において 「地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか」という設問で「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合	小学校60.4% 中学校58.2%	H30 81.9% H30 78.8%	82.0% 76.1%	70.0% 70.0%	R10 R10
28	1-2学校教育	02 豊かな心の育成	全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査において「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」という設問で「当てはまる」と回答した割合	小学校90.9% 中学校76.4%	H30 88.4% H30 76.6%	90.0% 81.7%	100.0% 100.0%	R10 R10
29	1-2学校教育	03 健やかな体の育成	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計得点 (全国を50.0とした場合)	小学校男子50.4 小学校女子49.4 中学校男子48.4 中学校女子47.0	H30 49.5 H30 49.8 H30 48.3 H30 46.6	— — — —	50.0 50.0 50.0 50.0	R10 R10 R10 R10
30	1-2学校教育	04 家庭・地域との連携・協働の推進	コミュニティ・スクールを導入する学校の割合	小・中学校3.3%	H30 13.3%	24.1%	小・中学校50.0%	R10 ○
31	1-2学校教育	05 学びと育ちをつなぐ学校づくりの実現	中学校区で小・中学校9年間の共通の目標を設定し、教育活動を行う学校の割合	小・中学校10.0%	H30 66.7%	66.7%	小・中学校100.0%	R10 ○
32	1-2学校教育	05 学びと育ちをつなぐ学校づくりの実現	公立小・中学校施設の耐震化率	小・中学校81.3%	H30 88.6%	90.0%	小・中学校100.0%	R10 ○
33	1-2学校教育	市民アンケート指標	子どもたちに学力・体力・豊かな心が育まれていると感じている市民の割合 (18歳未満の子どもがいる世帯)	23.4%	R1 —	32.7%	基準値より増	R10 ○
34	2-1地域福祉	01 住民相互の支え合いを目指した地域福祉活動の推進	ボランティア・市民活動センターの登録団体数	125団体	H30 130団体	136団体	180団体	R10 ○
35	2-1地域福祉	01 住民相互の支え合いを目指した地域福祉活動の推進	市民後見人登録者数	30人	H30 29人	30人	52人	R10 △
36	2-1地域福祉	02 多様な課題解決に向けて連携する支援体制の構築	福祉総合相談室(自立支援グループ)での新規相談受付件数	253件	H30 227件	643件	180件	R10 △
37	2-1地域福祉	03 支援が必要な方が外出しやすい環境づくり	ヘルプマーク配布数	270個	H30 216個	364個 (148個)	2,700個	R1～10合計 △
38	2-1地域福祉	市民アンケート指標	困った時に相談できる人や場所がある市民の割合	49.1%	R1 —	50.5%	基準値より増	R10 ○
39	2-2高齢者福祉	01 健康づくりと介護予防の取組の推進	地域版介護予防教室回数	584回	H30 563回	253回	600回	R10 △
40	2-2高齢者福祉	02 地域包括ケアシステムの深化に向けた高齢者を地域で支える仕組みづくりの推進	認知症サポーター養成講座回数	18回	H30 25回	6回	50回	R10 △

No.	施策	小施策	指標	基準値	前年度実績値	令和2年度実績値	目標値	推移	
41	2-2高齢者福祉	03 高齢者の生きがいづくりの推進	老壮大学の定員に対する受講生の割合	72.5%	H30	65.0%	62.7%	80.0%	R10 △
42	2-2高齢者福祉	市民アンケート指標	介護予防事業などの高齢者サービスが充実していると感じている市民の割合（65歳以上の方がいる世帯）	38.4%	R1	—	36.9%	基準値より増	R10 △
43	2-3障がい者福祉	01 自立と社会参加の促進	就労支援の利用者数	395人	H30	482人	601人	471人	R10 ○
44	2-3障がい者福祉	02 地域生活の支援体制の充実	障害福祉サービスの利用者数	1,297人	H30	1,325人	1,295人	1,497人	R10 △
45	2-3障がい者福祉	03 バリアフリー社会の実現	手話通訳者・要約筆記者の派遣件数	421件	H30	339件	230件	430件	R10 △
46	2-3障がい者福祉	03 バリアフリー社会の実現	手話の講座の開催回数	72回	H30	86回	23回	90回	R10 △
47	2-3障がい者福祉	市民アンケート指標	障がいのある人者が暮らしやすいと感じている市民の割合（障がいのある方がいる世帯）	21.1%	R1	—	21.8%	基準値より増	R10 ○
48	2-4保健衛生	01 健康づくり施策の推進	健康寿命の延伸	男性79.08歳 女性85.14歳	H27 H27	— —	— —	基準値より延伸 基準値より延伸	R10 R10
49	2-4保健衛生	02 健康危機管理体制の整備	病原微生物、有害物質等の検査機器の整備更新	—	—	4台	21台 (17台)	37台	R1-10 合計 ○
50	2-4保健衛生	03 食と生活環境の安全確保	食品・環境関連施設監視率	100%	H30	148%	87.0%	食品関連140%	R10 △
				100%	H30	165%	196.0%	環境関連160%	R10 △
51	2-4保健衛生	04 人と動物が共生できる環境づくり	飼い主探しサポート（譲渡率）	72.1%	H27～ 29平均	82.1%	90.5%	75.0%	R10 ○
52	2-4保健衛生	市民アンケート指標	自分が健康であると感じている市民の割合（No.10共通）	58.5%	R1	—	60.4%	基準値より増	R10 ○
53	2-5地域医療	01 良質で安全な医療の提供	かかりつけ医を持っている市民の割合	67.0%	R1	—	62.1%	基準値より増	R10 △
54	2-5地域医療	02 救急医療体制の充実	急病等の際に対応する救急医療の仕組みに満足している市民の割合	39.9%	R1	—	38.9%	基準値より増	R10 △
55	2-5地域医療	03 市立病院の経営効率化と役割の明確化	経常収支比率	94.8%	H30	93.0%	96.7%	100%以上	R10 ○
56	2-5地域医療	市民アンケート指標	安心して医療を受けられる環境が整っていると感じている市民の割合	38.7%	R1	—	41.9%	基準値より増	R10 ○
57	2-6男女共同参画社会	01 男女の人権の尊重と男女共同参画の意識づくり	配偶者暴力防止法の認知度	84.5%	H28, 7	—	—	100%	R10 —
58	2-6男女共同参画社会	02 あらゆる分野への男女共同参画の推進	市の審議会等における女性登用率	34.9%	H30, 4	33.8%	33.8%	45%	R10 △
59	2-6男女共同参画社会	03 男女が多様な生き方を選択できる環境づくり	男女が多様な生き方を選択できる環境が整っていると感じている市民の割合	21.4%	R1	—	19.4%	基準値より増	R10 △
60	2-6男女共同参画社会	市民アンケート指標	社会全体で男女平等となっていると感じている市民の割合	22.3%	R1	—	18.6%	基準値より増	R10 △
61	3-1農林業	01 農業経営基盤の強化	耕地面積	186ha	H27	185ha	184ha	186ha	R10 △
62	3-1農林業	01 農業経営基盤の強化	認定農業者数	6件	R1	6件	6件	20件	R10 △
63	3-1農林業	02 市民に親しまれる地域農業の推進	市民体験農園の申込区画数	213区画	H30	213区画	170区画	220区画	R10 △
64	3-1農林業	03 森林整備の推進	森林面積	16,374ha	H27	—	—	16,374ha	R10 —
65	3-1農林業	市民アンケート指標	小樽の農産物であることを意識して商品を選択する市民の割合	36.2%	R1	—	40.4%	基準値より増	R10 ○
66	3-2水産業	01 つり育てる漁業・資源管理型漁業の推進	放流魚種の漁獲量	724t	H30	434t	879t	800t	R10 ○
67	3-2水産業	02 漁場環境の保全・漁業基盤の整備	小樽沿岸の漁獲量	3,853 t	H30	3,331t	4,511t	3,900 t	R10 ○
68	3-2水産業	02 漁場環境の保全・漁業基盤の整備	トド等海獣による漁業被害額	61,421千円	H28～ 30平均	31,528千円	38,920千円	55,300千円	R10 ○
69	3-2水産業	03 地元水産物の付加価値を高める水産加工業の振興と消費拡大の推進	小樽水産加工グランプリ出品数	12品	H30	—	—	20品	R10 —
70	3-2水産業	03 地元水産物の付加価値を高める水産加工業の振興と消費拡大の推進	小樽のおさかな普及推進委員会HP閲覧数	40,000件	H30	48,413件	53,250件	50,000件	R10 ○
71	3-2水産業	市民アンケート指標	小樽の水産物であることを意識して商品を選択する市民の割合	49.7%	R1	—	51.4%	基準値より増	R10 ○
72	3-3商業	01 創業の促進及び経営の安定化	商人塾参加人数	70人	H30	55人	35人	70人	R10 △
73	3-3商業	02 買い物環境の魅力向上	小売業の年間商品販売額（No.7共通）	1,298億円	H27	—	—	1,298億円	R10 —
74	3-3商業	02 買い物環境の魅力向上	飲食店売上高	133億円	H27	—	—	150億円	R10 —
75	3-3商業	03 流通構造の変化に対応した卸売機能の強化	卸売業の年間商品販売額	1,305億円	H27	—	—	1,305億円	R10 —
76	3-3商業	04 商店街・市場の振興	中心7商店街の空き店舗率	14.0%	H30	16.8%	16.4%	10.0%	R10 △
77	3-3商業	市民アンケート指標	買い物環境が充実していると感じている市民の割合	44.6%	R1	—	50.6%	基準値より増	R10 ○
78	3-4工業・企業立地	01 経営基盤の強化と創業の促進	関係機関と連携した支援による新規創業者数	42件	H30	31件	27件	45件	R10 △
79	3-4工業・企業立地	02 ネットワークの形成と地場産業の活性化	製造業の付加価値額	624億円	H28	—	658億円	650億円	R10 ○
80	3-4工業・企業立地	03 地場産品の販路拡大と新たな市場開拓	製造業の製造品出荷額等	1,704億円	H28	—	1,751億円	1,900億円	R10 ○
81	3-4工業・企業立地	04 企業誘致活動の強化	課税免除による支援を活用した設備投資件数	7件	H30	6件	10件 (4件)	70件	R1-10 合計 △
82	3-4工業・企業立地	市民アンケート指標	地場企業に活力があると感じている市民の割合	10.7%	R1	—	12.6%	基準値より増	R10 ○
83	3-5観光	01 小樽の魅力深める取組	小樽市の宿泊客延数	957,100人	H30	943,400人	394,100人	1,300,000人	R10 △
84	3-5観光	01 小樽の魅力深める取組	観光客満足度	91.30%	H25	—	—	95.00%	R10 —

No.	施策	小施策	指標	基準値	前年度実績値	令和2年度実績値	目標値	推移		
85	3-5観光	01 小樽の魅力を深める取組	観光客消費額 (No.8共通)	1,255億円	H25	—	2,300億円	R10	—	
86	3-5観光	02 小樽の魅力を広げる取組	北後志6市町村宿泊客延数	1,249,900人	H30	1,188,400人	473,600人	1,700,000人	R10	△
87	3-5観光	02 小樽の魅力を広げる取組	小樽市の宿泊客延数 (No.83再掲)	957,100人	H30	943,400人	394,100人	1,300,000人	R10	△
88	3-5観光	03 小樽の魅力を共有する取組	観光客に伝えたい小樽の良さがあると答えた市民の割合	61.1%	R1	—	63.1%	基準値より増	R10	◎
89	3-5観光	市民アンケート指標	観光都市であることに魅力や活力を感じている市民の割合	49.4%	R1	—	49.5%	基準値より増	R10	◎
90	3-6港湾	01 物流の活性化	小樽港の年間取扱貨物量	1,307万トン	H30	1,295万トン	1,196万トン	基準値より増	R10	△
91	3-6港湾	02 「みなと観光」拠点の創出	クルーズ船の道内寄港数における小樽港の割合	20.79%	H30	22.31%	0.0%	30%	R10	△
92	3-6港湾	03 安全・安心対策の推進	老朽化対策を行う岸壁数の割合	33.3%	H30	33.3%	33.3%	50.0%	R10	△
93	3-6港湾	04 石狩湾新港との連携	両港のタグボート相互利用等のポートサービス連携により寄港した船舶の隻数	89隻	H30	105隻	99隻	基準値より増	R10	◎
94	3-6港湾	市民アンケート指標	港に魅力や活力を感じている市民の割合	29.6%	R1	—	34.6%	基準値より増	R10	◎
95	3-7雇用・労働	01 安定した雇用の確保	雇用保険一般被保険者数 (No.4共通)	33,492人	H30.10	32,815人	32,537人	33,492人	R10	△
96	3-7雇用・労働	02 多様な人材の就労支援と地元密着の促進	新規高卒者の市内就職割合	46.2%	H30	40.4%	42.5%	50.0%	R10	△
97	3-7雇用・労働	02 多様な人材の就労支援と地元密着の促進	シルバー人材センター登録会員数	387人	H30.10	406人	373人	387人	R10	△
98	3-7雇用・労働	03 職業能力の開発・向上	市が指定する人材育成セミナーの受講者数	80人	H30	90人	70人	80人	R10	△
99	3-7雇用・労働	04 労働環境の整備	適正な労働環境であると感じている市民の割合	13.1%	R1	—	14.6%	基準値より増	R10	◎
100	3-7雇用・労働	市民アンケート指標	働きやすいと感じている市民の割合	15.0%	R1	—	16.3%	基準値より増	R10	◎
101	4-1上下水道	01 安全な水の供給と快適で安全・安心な生活環境の創造	水質分析機器の整備更新数	—	—	4基	6基 (2基)	25基	R1-10 合計	◎
102	4-1上下水道	01 安全な水の供給と快適で安全・安心な生活環境の創造	事業場排水の水質検査実施箇所数	—	—	42か所	82か所 (40か所)	400か所	R1-10 合計	◎
103	4-1上下水道	02 上下水道機能の維持・強化	浄水・送水・配水管の更新延長	—	—	3.4km	6.6km (3.2km)	34.3km	R1-10 合計	△
104	4-1上下水道	02 上下水道機能の維持・強化	下水道設備の整備更新数	—	—	12基	21基 (9基)	184基	R1-10 合計	△
105	4-1上下水道	03 経営基盤の強化と市民の視点に立った事業経営	水道料金、下水道使用料の収納率	水道99.3%	H30	99.2%	99.1%	水道99.3%	R10	△
				下水道99.3%	H30	99.3%	99.5%	下水道99.3%	R10	△
106	4-1上下水道	04 危機管理対策の充実と広域連携の推進	災害対策訓練実施回数	4回	H30	7回	8回	5回	R10	◎
107	4-1上下水道	市民アンケート指標	上下水道に満足している市民の割合	61.4%	R1	—	63.7%	基準値より増	R10	◎
108	4-2道路・河川	01 道路の整備、維持管理	道路改良工事等で側溝や舗装などを新設又は改良する市道の整備延長	2km	H28～ 30平均	2.24km	4.7km (2.46km)	20km	R1-10 合計	◎
109	4-2道路・河川	01 道路の整備、維持管理	小樽市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、修繕を完了する橋りょう数	2橋	H30	5橋	6橋	37橋	R6	△
110	4-2道路・河川	02 河川の整備、維持管理	河川しゅんせつ延長	2.5km	H30	2.25km	2.33km	3.0km	R10	△
111	4-2道路・河川	02 河川の整備、維持管理	沈砂池のしゅんせつ箇所	4か所	H30	4か所	4か所	4か所	R6	◎
112	4-2道路・河川	市民アンケート指標	道路の整備や維持管理が適切に行われていると感じている市民の割合	35.9%	R1	—	34.2%	基準値より増	R10	△
113	4-3住宅	01 安全・安心で快適な住宅の促進	住宅エコリフォーム助成制度による助成件数	7件	H30	14件	5件	20件	R10	△
114	4-3住宅	02 市営住宅の整備活用	子育て世帯向け市営住宅の供給戸数	10戸	H30	10戸	12戸	30戸	R10	△
115	4-3住宅	03 空家等対策	管理不全な空家の解体件数	18件	H30	16件	37件 (21件)	200件	R1-10 合計	△
116	4-3住宅	04 移住促進に向けた情報提供などの充実	移住相談窓口を利用した移住人数 (No.6共通)	112人	H21～ 30合計	21人	39人 (18人)	146人	R1-10 合計	◎
117	4-3住宅	市民アンケート指標	快適な住環境と感じている市民の割合 (No.5共通)	44.0%	R1	—	47.1%	基準値より増	R10	◎
118	4-4除排雪	01 効率的な雪対策の充実	除排雪等に対する「市民の声」件数	2,697件	H21～ 30平均	1,063件	1,334.0件 (1,605件)	2,100件	R1-10 平均	◎
119	4-4除排雪	02 市民との協働による雪対策の検討	砂まきボランティアの登録数	153件	H30	192件	172.5件 (153件)	180件	R1-10 平均	◎
120	4-4除排雪	03 雪堆積場等の確保	雪押場数	439か所	H30	529か所	521か所	530か所	R10	◎
121	4-4除排雪	市民アンケート指標	冬期間、安全に移動できる道路が確保されていると感じている市民の割合	29.3%	R1	—	27.8%	基準値より増	R10	△
122	4-5市街地整備	01 中心市街地の整備	中心市街地の歩行者通行量 (年2回 (1回当たり平日・休日の2日間) の調査値の合計)	25,590人	H30	25,463人	15,208人	28,100人	R10	△
123	4-5市街地整備	02 周辺市街地の整備	暮らしやすい環境が形成されていると感じている市民の割合 (No.11共通)	37.8%	R1	—	37.7%	基準値より増	R10	△
124	4-5市街地整備	03 新幹線を活用したまちづくりの取組	北海道新幹線札幌延伸後に新幹線を利用してみたいと答えた市民の割合	43.3%	R1	—	44.5%	基準値より増	R10	◎
125	4-5市街地整備	市民アンケート指標	中心部のにぎわいや商業・サービス機能に満足している市民の割合	14.7%	R1	—	14.9%	基準値より増	R10	◎
126	4-6交通	01 持続可能な交通ネットワークの構築	バスの「運行頻度」「運行間隔」における不満足割合	49.2%	H30	—	48.8%	基準値より減	R10	◎
127	4-6交通	02 交通基盤・交通環境の整備・充実	市内を車で円滑かつ安全に移動できると感じている市民の割合	45.6%	R1	—	39.5%	基準値より増	R10	△
128	4-6交通	市民アンケート指標	地域公共交通に対して満足している市民の割合 (No.12共通)	34.3%	R1	—	30.2%	基準値より増	R10	△



No.	施策	小施策	指標	基準値	前年度実績値	令和2年度実績値	目標値	推移
129	4-7防災・危機管理	01 防犯対策の推進	多数利用建築物の耐震化率	87%	H30 89%	89%	95%	R10 ○
130	4-7防災・危機管理	02 災害応急活動体制や危機管理体制の強化	自主防災組織カバー率 (自主防災組織カバー率) = (自主防災組織等地域世帯数) ÷ (本市世帯数) × 100	22%	H30 22.0%	22.3%	60%(北海道が公表(H29)している全道平均以上)	R10 △
131	4-7防災・危機管理	市民アンケート指標	災害に強いまちづくりができていてと感じている市民の割合	17.4%	R1 -	17.7%	基準値より増	R10 ○
132	4-8消防	01 警防体制の整備	消防車両更新台数	-	H30 1台	2台 (1台)	15台	R1-10 △
133	4-8消防	02 火災予防の推進	住宅用火災警報器の設置率	72%	H30 71.0%	76.0%	83%	R10 ○
134	4-8消防	03 救急救助体制の充実	救命講習会開始からの修了証発行者数	7,899人	H30 8,682人	8,690人	12,000人	R10 △
135	4-8消防	04 消防団の強化	消防団員の充足率	81%	H30 73%	69%	90%	R10 △
136	4-8消防	市民アンケート指標	消防体制(火災・救急・救助・予防)が整っていると感じている市民の割合	45.3%	R1 -	46.3%	基準値より増	R10 ○
137	4-9生活安全	01 交通安全の推進	交通安全教室・講話回数	80回	H30 77回	36回	90回	R10 △
138	4-9生活安全	01 交通安全の推進	高齢者向け交通安全講話回数(上記内数)	24回	H30 24回	3回	30回	R10 △
139	4-9生活安全	01 交通安全の推進	交通事故(人身事故)発生件数	235件	H30 178件	141件	基準値より減	R10 ○
140	4-9生活安全	01 交通安全の推進	高齢者(65歳以上)の運転による人身事故発生件数(上記内数)	69件	H30 53件	38件	基準値より減	R10 ○
141	4-9生活安全	01 交通安全の推進	歩行者被害の発生状況	39人	H30 34人	35人	基準値より減	R10 ○
142	4-9生活安全	01 交通安全の推進	高齢者(65歳以上)の歩行者被害の発生状況(上記内数)	10人	H30 14人	17人	基準値より減	R10 △
143	4-9生活安全	02 防犯体制の推進	刑法犯認知件数	488件	H30 430件	312件	基準値より減	R10 ○
144	4-9生活安全	02 防犯体制の推進	町会等が保有する街路防犯灯のLED灯への更新数	13,324灯	H30 13,767灯	13,925灯	13,943灯	R10 ○
145	4-9生活安全	03 消費生活の安定と向上	消費者相談の件数	1,092件	H30 965件	917件	800件	R10 ○
146	4-9生活安全	市民アンケート指標	交通事故や犯罪の対策が図られており、安全に安心して生活できていると感じている市民の割合	37.7%	R1 -	41.0%	基準値より増	R10 ○
147	5-1環境保全	01 市民生活における環境保全対策の徹底	大気及び水質の環境基準値超過件数	0件	H30 0件	0件	0件	R10 ○
148	5-1環境保全	02 地球温暖化防止対策の推進	地球温暖化防止の一環として、省エネルギー対策に取り組んでいる市民の割合	29.1%	R1 -	29.2%	基準値より増	R10 ○
149	5-1環境保全	03 環境意識の高揚	清掃ボランティア参加数	10,724人	H30 10,471人	5,573人	12,600人	R10 △
150	5-1環境保全	04 人と自然の共生	環境緑地保護地区・自然景観保護地区・記念保護樹木・保存樹木・保全樹林の数	保護地区7か所 (北海道指定2)	H30 7か所	7か所	保護地区7か所 (北海道指定2)	R10 ○
				樹木15か所 (北海道指定2) (小樽市指定13)	H30 15か所	15か所	樹木15か所 (北海道指定2) (小樽市指定13)	R10 ○
151	5-1環境保全	市民アンケート指標	良好で快適な環境の保全が図られていると感じている市民の割合	27.7%	R1 -	27.2%	基準値より増	R10 △
152	5-2循環型社会	01 3Rの推進に向けた自主的な取組への支援	市民一人1日当たりの生活系資源物排出量	142g/人・日	H30 142g/人・日	142g/人・日	165g/人・日	R10 △
153	5-2循環型社会	02 ごみ・資源物の適正処理	市民一人1日当たりの生活系ごみ排出量	470g/人・日	H30 468g/人・日	482g/人・日	425g/人・日	R10 △
154	5-2循環型社会	03 し尿などの適正処理	合併処理浄化槽設置数	116基	H30 117基	118基	127基	R10 ○
155	5-2循環型社会	市民アンケート指標	ごみの適正な排出や、3Rを心掛けている市民の割合	71.7%	R1 -	68.5%	基準値より増	R10 △
156	5-3公園・緑地	01 緑の保全	中心市街地の市道における、街路樹本数	287本	R1 287本	284本	300本	R10 △
157	5-3公園・緑地	02 公園・緑地の整備推進と維持管理の充実	市街地における、公園の整備や維持管理状況について、良くなったと感じる市民の割合	28.6%	R1 -	30.1%	基準値より増	R10 ○
158	5-3公園・緑地	03 市民との協働による緑化の推進と支援	市民参加による、緑化関連等の活動イベント開催数	4回	R1 4回	2回	6回	R10 △
159	5-3公園・緑地	市民アンケート指標	公園やまちなかの緑に満足している市民の割合	43.1%	R1 -	46.0%	基準値より増	R10 ○
160	5-4都市景観	01 歴史的建造物の保全及び活用	指定歴史的建造物の指定件数	79件	H30 79件	79件	79件	R10 ○
161	5-4都市景観	02 まちなみ景観の創出	小樽のまちなみに愛着を持っている市民の割合	76.0%	R1 -	78.3%	基準値より増	R10 ○
162	5-4都市景観	03 自然景観等の保全	小樽の海や山などの自然景観に愛着を持っている市民の割合	80.8%	R1 -	84.4%	基準値より増	R10 ○
163	5-4都市景観	04 市民との協働による景観形成	歴史的建造物めぐり等の啓発事業への応募件数	165件	H29 48件	-	180件	R10 -
164	5-4都市景観	市民アンケート指標	小樽のまちなみに愛着を持っている市民の割合 (No.161再掲)	76.0%	R1 -	78.3%	基準値より増	R10 ○
165	6-1社会教育	01 「学び」と「活動」の循環の推進	地域のボランティアと連携して実施する教育支援活動推進事業の回数	2,245回	H30 2,131回	1,652回	2,600回	R10 △
166	6-1社会教育	02 生涯各期における学習機会の充実	「市民大学講座、はつらつ講座、やんぐすくーる、生活講座、老壮大学」の人口に対する参加者の割合	2.0%	H30 1.9%	0.5%	2.2%	R10 △
167	6-1社会教育	03 図書館の利活用の促進	市民一人当たりの貸出冊数	2.89冊	H30 2.62冊	2.21冊	3.20冊	R10 △
168	6-1社会教育	04 総合博物館の利活用の促進	入館者数(本館・運河館)	120,237人	H30 127,638人	58,390人	140,000人	R10 △
169	6-1社会教育	05 文学館・美術館の利活用の促進	入館者数(文学館)	9,138人	H30 8,322人	5,492人	11,000人	R10 △
170	6-1社会教育	05 文学館・美術館の利活用の促進	入館者数(美術館)	11,524人	H30 10,911人	5,599人	13,000人	R10 △
171	6-1社会教育	市民アンケート指標	生涯学習に興味のある市民の割合	48.0%	R1 -	47.5%	基準値より増	R10 △

No.	施策	小施策	指標	基準値	前年度実績値	令和2年度実績値	目標値	推移
172	6-2文化芸術	01 文化芸術の振興	小樽市文化祭の人口に対する参加者の割合	10%	H30 9.9%	2.5%	12%	R10 △
173	6-2文化芸術	02 文化財などの保存と活用	文化財保存団体数	4団体	H30 4団体	4団体	4団体	R10 ○
174	6-2文化芸術	市民アンケート指標	文化芸術の鑑賞や体験活動に参加したことのある市民の割合	35.7%	R1 —	36.8%	基準値より増	R10 ○
175	6-3スポーツ・レクリエーション	01 生涯スポーツ・レクリエーション活動の普及と市民体力の向上	成人の週1回以上のスポーツ実施率	24.2%	R1 —	36.9%	65.0%	R10 ○
176	6-3スポーツ・レクリエーション	02 スポーツ団体との連携と競技力の向上	成人の週1回以上のスポーツ実施率（No.175再掲）	24.2%	R1 —	36.9%	65.0%	R10 ○
177	6-3スポーツ・レクリエーション	03 体育施設の整備と利用促進	主な体育施設3施設（総合体育館、高島小学校温水プール、銭函パークゴルフ場）を利用する延べ利用者の人口に対する割合	117.0%	H30 118.5%	70.5%	122.0%	R10 △
178	6-3スポーツ・レクリエーション	市民アンケート指標	気軽にスポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合	23.1%	R1 —	34.7%	基準値より増	R10 ○
179	6-4国際交流	01 姉妹都市等との交流	ホストファミリーと通訳ボランティアの登録者数	ホストファミリー54世帯 通訳ボランティア70人	H30 55世帯 H30 73人	55世帯 73人	ホストファミリー60世帯 通訳ボランティア100人	R10 R10 △
180	6-4国際交流	02 外国人が暮らしやすい環境づくり	在住外国人の日本語教室受講者数	17人	H30 20人	16人	30人	R10 △
181	6-4国際交流	市民アンケート指標	国際交流に関心がある市民の割合	29.3%	R1 —	29.3%	基準値より増	R10 ○

※既に公表済みである前年度実績のうち、4指標に誤りがありましたので訂正しています。①No.27「全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査において「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」という設問で「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合」小学校98.2%⇒81.9%、中学校92.4%⇒78.8%、②No.28「全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査において「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」という設問で「当てはまる」と回答した割合」小学校98.2%⇒88.4%、中学校92.4%⇒76.6%、③No.49「病原微生物、有害物質等の検査機器の整備更新」3台⇒4台、④No.72「商人塾参加人数」35人⇒55人

※No.1「合計特殊出生率」の前年度実績値が確定しましたので追加で掲載しています。

※No.3、5、9～13、24、53、54、59、88、99、123、124、126、127、148、157、161、162、175、176及び市民アンケート指標については、令和3年5月に実施したアンケートによる結果を掲載しています。

※推移は、基準年から目標年までに、基準値から目標値まで平均的に増加（減少）させた場合を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定、「○・・・指標の推移は順調、△・・・指標の推移は順調でない」

※目標値が「R1～10平均」又は「R1～10合計」となっている指標の実績値については、実績年度における平均値又は合計値を記載しています（当該年度の単年度実績は下段にかっこ書きで記載）。